

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市鶴巻児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人みやぎ・せんだい子どもの丘
3	指定期間	平成27年4月1日から令和2年3月31日まで
4	施設の利用状況	《利用者数》21,174人 (前年度比 90.1%) 平成30年度 23,484人 平成29年度 19,909人 平成28年度 19,756人
		《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 39,978千円 (39,121千円) ・ その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 ・ 使用料収入 0千円 (0千円) ・ その他収入 0千円 (0千円)
		()は前年度決算額
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、児童館運営委員会、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	「児童館ガイドライン」等に基づき、設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示等で利用者にも周知している。職員の倫理保持・服務規律遵守については、研修や会議で確認する取り組みを行っている。また、地域の特性やニーズを踏まえながら各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	33/33
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な管理体制が構築されている。また、各種マニュアルの整備、施設内外の点検、毎月の避難訓練等の実施により、利用者の安全に留意した運営に取り組んでいる。	30/30
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な点検や清掃により、建物・設備・外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取り組みも実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	23/23
IV サービスの質の向上	名札の着用、児童館だよりの発行、ホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに努めている。また、各種研修会への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等で利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	28/28
V 施設固有の基準	児童クラブにおいては、子どもの自発的な遊びや子ども同士の関わりを見守る支援を通して、社会性や協調性を育てている。サテライト室では、長期休みには校庭で体を十分に動かす時間を設けるなど過ごし方を工夫するとともに、職員間の連携や共通理解を深め、子どもの快適な居場所づくりに努めている。また、保護者会主催の行事を通して、保護者と職員、保護者同士の交流の機会を設けるとともに児童館運営への理解を深めた。	19/19

三 評価総括

《指定管理者（みやぎ・せんだい子どもの丘）による自己評価》

児童の社会参画，自己実現を図る事業にも多く取組み，積極的主体的に参加する環境作りを進めることができました。また，地域の協力を得て，児童が地域と繋がる行事を多く実施することが出来ました。ただ，年度末の新型コロナウイルスの影響で行事が中止になり残念に思います。

●児童健全育成 結成10年目となる子ども劇団「わんにゃんぶう」は，在仙の詩人武田氏による脚本演出の朗読劇を，文学館とまるごと児童館ステージ発表にて公演しました。また，中学生までの子どもボランティアを募集し，館の主催行事「こどものまち」の企画運営，児童館行事の補助など行い，地域のリーダー育成を目的に活動しました。

●子育て家庭支援 「おはなし会」や，お茶を飲みながらお母さん方の不安や悩みを共有する「ほっとカフェ」などサロンのような内容のもと，製作やクッキング，講話を聴く行事を多数行いました。また，高砂地区社会福祉協議会助成事業の「子育てサロン」，宮城野区まちづくり推進課主催の「はっぴいママ」などの企画に積極的に出張し活動しました。

●地域交流推進 「つるまきハロウィン」では今年も16の店舗等にお菓子配りの協力をいただき，町内会の方々には安全指導をお願いして地域交流を図りました。また，「artist session Vol.2」では，行事等でお世話になっている民生委員の皆さんや，ハロウィンでご協力いただいた皆さん，各町内会長さんなどをご招待し，地域連携を深めることができました。

●児童クラブ 今年度から小学6年生まで登録できるようになり，登録数も年々増加しています。サテライト室3年目の運用で，環境設定も整い，本館との情報共有や連動した流れも定着しました。また，個別支援や家庭的に配慮が必要な児童には，専門のコーディネータのご協力をいただき，子どもの環境づくりや子どもへの配慮についてアドバイスをいただき改善できました。

《施設設置者（仙台市）による評価》

総合評価

児童健全育成事業において，継続した取り組みである「こどものまち」を通して，子どもの自主的な活動を支援し社会性を育み，「アーティストセッション2」では歌やダンス，朗読劇などの表現活動を通して，豊かな情緒の育成や自己肯定感を育むなど，豊かな体験の機会を提供している。こうした行事の中心となる高学年から中学生で構成された「子どもボランティア」は，何度も話し合いの場を設けながら行事の開催に向けて取り組んでおり，子ども達のリーダーとしての経験を通じた成長を支援している。

近隣の児童館と一緒に開催している「ドッジボール大会」や調理活動を行う「もぐもぐキッチン」，児童館スタッフと一緒に新しいカードゲームやボードゲームなどで遊ぶ「たいやきくんとあそぼう」は，内容が充実しており，子ども達に好評を得ている。「みんなであそぼう」では，地域の施設と連携してテニス体験をしたり，保護者と一緒にミニ四駆で遊ぶ親子交流の機会を持つなど，保護者も含めた活動や交流の場を広げている。

また，児童クラブでのお誕生会や，小学生向けに放課後の時間帯に毎月開催される「ぼたんちゃんのおはなし会」など，子ども達が楽しみにしている毎月の行事を大切にしており，子どもにとって，行事開催のみならず，日常的に遊びとくつろぎを提供し，子ども達が安心して過ごせる居場所となるよう努めている点が評価できる。

S

四 その他特記事項

（上記評価項目の他に，指定管理者の優れた取組み等，特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進課